

令和3年度進行管理・評価シート  
 小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)(令和3年3月29日認定)  
 (最終変更 令和4年3月29日)

**口進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の進捗管理及び推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 清閑亭活用事業	.....	3
2 皆春荘整備活用事業	.....	4
3 旧松本剛吉別邸整備活用事業	.....	5
4 小田原文学館(本館・別館)整備活用事業	.....	6
5 歴史的風致形成建造物整備活用事業	.....	7
6 史跡小田原城跡保存活用・整備事業	.....	8
7 指定文化財等建造物保存・公開事業	.....	9
8 街かど博物館活用事業	.....	10
9 小田原宿なりわい交流館整備活用事業	.....	11
10 景観計画重点区域等における景観形成修景費補助事業	.....	12
11 重点区域における街なみ環境の向上	.....	13
12 文化財の総合的把握・保存活用事業	.....	14
13 伝統行事・民俗芸能等保存継承事業	.....	15
14 観光イベント支援事業	.....	16
15 回遊性向上推進事業	.....	17
16 伝統的工芸品産業産地組合助成・地場産業PR支援事業	.....	18
17 職人育成等推進事業	.....	19
18 旧保健福祉事務所跡地活用事業	.....	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査及び指定、防災	.....	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
	.....	22
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 小田原城址公園の魅力向上	.....	23
2 歴史まちづくりカードの配布	.....	24
3 歴史まちづくり出前講座の実施	.....	25
4 歴史まちづくりパネル展示の実施	.....	26
5 歴史的建造物の入館者数等	.....	27

<b>口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	28
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
計画の進捗管理及び推進体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
本計画の推進にあたっては、市内部の横断的な体制を整えるとともに、歴史まちづくり法第11条に基づく、外部有識者らで構成する小田原市歴史まちづくり協議会を設置することで、計画的に進捗管理し、推進を図る。市内部の体制としては、文化部、経済部、都市部の主要課を事務局とし、小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議において、市内部における本計画の進捗管理及び事業推進に係る連絡調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和3年度第1回、第2回小田原市歴史まちづくり協議会及び令和3年度第1回、第2回小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面開催とした。  
・本計画に位置付けている各事業については、円滑に進めるため所管課と個別に連絡調整を行った。

【定量的評価】

小田原市歴史まちづくり協議会の開催回数 R3:2回  
小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議の開催回数 R3:2回

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○小田原市歴史まちづくり協議会

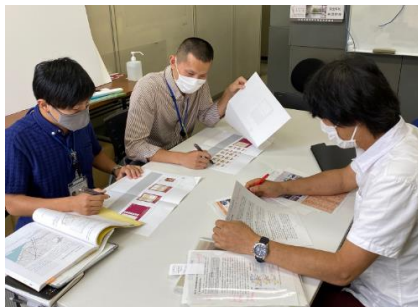
第1回協議会(書面開催:令和3年5月12日~令和3年5月19日)

- 協議事項
  - 会長及び副会長の選出について
  - 令和2年度小田原市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価シート
  - 歴史的風致形成建造物の指定について
- 報告事項
  - 社会資本総合整備計画の次期計画策定について

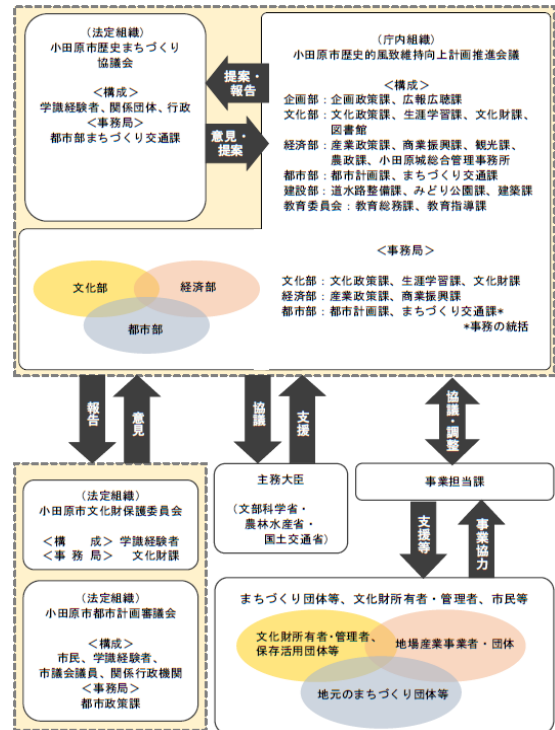
第2回協議会(書面開催:令和3年11月22日~令和3年12月1日)

- 協議事項
  - 歴史的風致形成建造物の指定について
  - 小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の変更について
- 報告事項
  - 令和3年度進行管理・評価シートについて(中間報告)
  - 小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)に係る効果測定調査について

○所管課との連絡調整の様子



○小田原市歴史的風致維持向上計画の実施体制図



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度
	令和3年度 現在の状況
景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 本計画の重点区域には、本市が先進的に取り組んできた建築物や屋外広告物等に関する景観施策に基づいた景観計画重点区域が含まれており、今後本計画の推進と連動しながら、景観計画重点区域等の拡充を図ることにより、効果的に歴史的風致の維持向上を図ることが可能である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成17年度に策定した「小田原市景観計画」に基づき、市内における良好な景観形成のための規制誘導を行っている。  
 【景観届出件数】  
 R3:18件

・景観上重要と思われる案件について、自然、歴史的建造物、街なみ、伝統や文化との調和を踏まえ、地域ごとの特性に応じた景観を形成するため、景観評価員に意見を求めている。  
 【景観評価件数】  
 R3:2件

・景観計画重点区域内等の民有建築物については、著しく良好な景観に寄与する建築物の新築等における屋根及び外壁に係る設計費及び工事費の一部を助成する「景観形成修景費補助金制度」の活用による修景を実施している。  
 【修景実施件数】  
 R3:1件

・平成22年に施行した「小田原市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物における規制誘導を行っている。  
 【屋外広告物届出件数】  
 R3:45件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○重点区域内における良好な景観形成の事例(景観形成修景費補助金制度によるもの)  
 「10.景観計画重点区域における景観形成修景費補助事業(p.12参照)」  
 龍宮堂/かまぼこ通り周辺地区

○景観評価員への意見聴取状況  
 かまぼこ通り周辺地区重点区域見直し、景観舗装(令和3年9月30日)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
清閑亭活用事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	清閑亭を、歴史・文化と自然に恵まれた小田原の豊かな暮らしを体感できる施設として、民間事業者等と連携し、魅力的な活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
<p>・民間事業者等と清閑亭の魅力的な活用を進めるため、NPO法人小田原まちづくり応援団に委託し、施設に関連したイベント等を実施した。施設の開館については、コロナ禍のため、一定の制限を設け開館した。</p> <p>・神奈川県と民間の協働事業である「湘南邸園文化祭」へ引き続き参加し、市外への積極的な情報発信を行った。</p> <p>・令和4年度以降の委託業者については、民間提案制度により事業者から提案を募集し、審査のうえ、(株)JSフードシステムが優先交渉権者に採用された。</p> <p>・令和4年度以降の活用については、民間事業者による食を通じた「小田原ならではの文化」の発信や地域と連携した小田原観光の回遊拠点としての活用などを予定している。</p>
<p><b>【定量的評価】</b>                      入館者数 R3:19,277人                      イベント数 R3:80回                      参加者数 R3:10,540人</p>

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○イベント開催時の様子



小田原城アートNOW2021  
(令和3年6月2日～20日)



つちとことのは展  
(令和3年7月1日～11日)

○県の協同事業への参加



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
皆春荘整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金、都市構造再編集中支援事業、市単独事業
計画に記載している内容	皆春荘を、小田原の別邸文化を伝える施設として保全するとともに、板橋散策のレストスペースとして、魅力向上のための整備を進める。また、市民や観光客が別邸文化に触れることのできる環境を整えるため、民間団体等と連携した利活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・整備については、令和3年5月に主屋の耐震等改修工事が完了した。庭園については、整備に向けた調査が完了した。  
 ・活用については、秋からの一般公開に向け室内及び庭園の清掃・整備を行った。また、一般公開と併せて、皆春荘の周知及び将来的な利活用の可能性を探るためにイベント主催者を募集し、イベントを開催した。  
 ・令和4年度以降の活用については、管理運営業務委託を検討しており、公募要領等の整理など準備を行った。

【定量的評価】  
 入館者数 R3:1,877人  
 イベント数 R3:3回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○イベント募集チラシと実績

歴史的建造物を使って イベントや撮影を行いたい方 募集中!

皆春荘 (小田原市板橋852)

募集要項: 10月18日(土) 皆春荘で十三夜、月待ちヨガ / 10月24日(土) 松本邸と皆春荘、建物見学会 / 11月6日(土) 秋空の弦楽四重奏

日時	イベント名	主催者	参加者数
10月18日	皆春荘で十三夜、月待ちヨガ	NPO法人小田原まちづくり応援団	18人
10月24日	松本邸と皆春荘、建物見学会	NPO法人小田原まちづくり応援団	27人
11月6日	秋空の弦楽四重奏	風の音カルテット	66人
合計			111人

○イベント開催時の様子



令和3年10月18日  
 皆春荘で十三夜、月待ちヨガ  
 参加者数:18人



令和3年11月6日  
 秋空の弦楽四重奏  
 参加者数:66人

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
旧松本剛吉別邸整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金、都市構造再編集中支援事業、市単独事業
計画に記載している内容	旧松本剛吉別邸を、小田原の別邸文化を伝える施設として保全するとともに、観光交流拠点として、魅力向上のための整備を進める。また、現存する茶室等を活用し、市民や観光客が別邸文化に触れることのできる環境を整えるため、民間団体等と連携した利活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・整備については、令和3年5月に主屋及び茶室の耐震等改修工事が完了した。庭園については、整備に向けた調査が完了した。  
 ・活用については、秋からの一般公開に向け室内及び庭園の清掃・整備を行った。また、一般公開と併せて、旧松本剛吉別邸の周知及び将来的な利活用の可能性を探るためにイベント主催者の募集し、イベントを開催した。  
 ・令和4年度以降の活用については、管理運営業務委託を検討しており、公募要領等の整理など準備を行った。

【定量的評価】

入館者数 R3:2,022人  
 イベント数 R3:10回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○イベント募集チラシと実績

歴史的建造物を使って イベントや撮影を行いたい方 募集中!

旧松本剛吉別邸 (小田原市南町2-1-27)

おだわらアートプロジェクト実行委員会

日時	イベント名	主催者	参加者数
10月24日	松本邸と皆春荘、建物見学会	NPO法人小田原まちづくり応援団	27人
11月7日	西海子通りの歴史探訪	NPO法人小田原まちづくり応援団	7人
11月23日	旧松本剛吉別邸、秋のお茶会	NPO法人小田原まちづくり応援団	50人
11月27日、28日	雨香亭にて呈茶	東雲会	84人
12月4日、5日	紅葉呈茶	小田原茶道部	57人
2月26日	つるしびなと楽しむ桜の呈茶	NPO法人小田原まちづくり応援団	23人
3月5日、6日	早春の名席体験会	無持庵茶友会	21人
3月19日、20日	小田原城町芸術祭 豊田利晃監督短編映画上映会	おだわら城町アートプロジェクト実行委員会	47人
3月26日、27日	さくら茶会	東雲会	107人
3月29日	旧松本剛吉別邸でまちえんの呈茶、わってらかの子ども遊び、小さなおだワクマルシェ	NPO法人小田原まちづくり応援団	約200人
合計			約623人

○イベント開催時の様子



令和3年11月27日、28日  
 雨香亭にて呈茶  
 参加者数:84人



令和4年3月19日、20日  
 小田原城町芸術祭  
 豊田利晃監督短編映画上映会



令和4年3月29日  
 旧松本剛吉別邸でまちえんの呈茶、わってらかの子ども遊び、小さなおだワクマルシェ

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
小田原文学館(本館・別館)整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	小田原文学館に付随する庭園の修景整備等を行うことにより建造物と一体的に歴史的風致形成建造物としての魅力を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・庭園整備の方向性等については、旧観の復元、建物との調和、美観の向上、管理機能の強化と安全性の確保、バリアフリー化、回遊拠点・休息施設としての利便性の向上の観点から、具体の整備内容について検討を進めており、令和4年度に改修整備の基本方針を策定する予定である。

・活用事業については、常設展示のほか、資料の特別展示、展示資料・建物の解説、テレビドラマ等への撮影の協力などを実施した。

【定量的評価】  
 入館者数 R3:4,509人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○企画展開催時の様子



企画展「素顔の尾崎一雄—未公開の書簡と写真から—」(令和3年3月22日～5月16日)入館者数:  
1,257人

○庭園整備の検討対象箇所(一部)



荒廃した散策路



枯れた状態のままの苑池



建物の展望を阻害する植栽

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物の指定の方針に基づき、歴史的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理及び復原に対する費用を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致を形成する活動の拠点となるものや歴史的風致を形成する市街地環境の維持向上に寄与するものなど、歴史的風致形成建造物の指定条件を満たす建造物を、歴史的風致形成建造物として指定する。  
 ・令和3年度については、15件指定した。うち11件は、第1期計画において歴史的風致形成建造物に指定した建造物を、改めて指定したものである。  
 ・令和3年度の歴史的風致形成建造物改修整備費補助金については、1件予定していたが、コロナ禍により、所有者から辞退の申入れがあったため、見送りとなった。

【定量的評価】

歴史的風致形成建造物の指定件数 R3:15件

歴史的風致形成建造物の助成件数 R3:0件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○指定した歴史的風致形成建造物一覧

- 1 小田原宿なりわい交流館(旧角吉)
- 2 江嶋
- 3 nico cafe(青木家住宅)
- 4 籠清
- 5 松永記念館
- 6 清閑亭
- 7 小田原文学館
- 8 旧松本剛吉別邸
- 9 皆春荘
- 10 旧内野醤油店
- 11 えじまや(旧江嶋屋陶器店)
- 12 濟生堂薬局小西本店
- 13 だるま料理店
- 14 早瀬幸八商店
- 15 TEA FACTORY 如春園(旧下田豆腐店)



nico cafe(青木家住宅)



江嶋



籠清



旧内野醤油店



えじまや(旧江嶋屋陶器店)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
史跡小田原城跡保存活用・整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 史跡等購入費補助金、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、指定文化財保存修理等補助金、市単独事業

計画に記載している内容 史跡小田原城跡を確実に保存し、未来に伝えるための基本方針として令和3年(2021)策定の『史跡小田原城跡保存活用計画』に基づき、小田原城址公園を中心とする本丸・二の丸や八幡山古郭・総構等の保存・活用・整備を図る。  
御用米曲輪の土塁の復元や蔵跡の平面表示、平場部分への遊歩道設置等の整備が終了した部分から順次一般公開を行う。史跡指定地内の地権者からの申し出の機会を捉え、史跡用地の買い取りを進め、順次活用と整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 ・御用米曲輪北東土塁の平面表示を作成し、一部平場の盛土工事を実施した。また、平場の近世整備範囲の実施設計を作成した。  
 ・総構稲荷森の公社所有地(史跡指定地)を公有地化した。このほか、天神山尾根・小峯畑(小峯畑下段)の宅地の史跡追加指定具申を行った(8/27付け)。また、令和4年度の史跡の公有地化(公社所有地)のため、測量を実施した。  
 【定量的評価】  
 公有地化面積 R3:山林3筆・実測面積2,379.21㎡

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○現地写真



整備が完了した御用米曲輪北東土塁



公有地化した土地(総構稲荷森 8/24登記完了)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
指定文化財等建造物保存・公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 指定文化財保存修理等補助金、市単独事業

計画に記載している内容 県及び市の指定文化財建造物の所有者に対し管理奨励金を支出するとともに、修繕が必要な場合に補助し、修繕の指導及び助言をすることで、保存と管理の支援を図る。  
 県及び市の指定文化財の建造物や国の登録有形文化財、小田原ゆかりの優れた建造物などの見学会や観覧会を NPO 法人等との連携を図りながら実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・指定文化財等の修繕に係る補助については、勝福寺本堂の屋根裏補修や銅板葺き直しなどについて実施した。  
 ・指定文化財の公開については、文化財建造物秋の観覧会(令和3年12月4日、5日)、遺跡見学会(令和4年3月26日)、最新出土品展2021(令和3年10月30日～12月26日)などを実施した。なお、遺跡講演会はコロナ禍のため中止とした。

【定量的評価】

指定文化財等の修繕に係る補助件数 R3:2件  
 文化財建造物等公開事業来場者数 R3:2,203人  
 遺跡見学会 R3:24人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○指定文化財等の修繕  
 勝福寺本堂の装飾の塗装



施工前



施工後

○指定文化財の公開



文化財建造物秋の観覧会(令和3年12月4日、5日実施)



遺跡見学会(令和4年3月26日実施)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
街かど博物館活用事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域に根差した店舗等を街かど博物館として認定して一般公開するとともに、街の歴史や魅力を知ってもらうことを目的とした体験教室やまち歩きツアーなどの事業を実施する街かど博物館館長連絡協議会の活動を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・街かど博物館体験ツアーについて、2回開催をした。
- ・街かど博物館ファンクラブ会員へイベント情報を知らせる「まちはく通信」を発行している。
- ・街かど博物館館長連絡協議会作業部会について、令和3年度はコロナ禍のため、中止とした。

【定量的評価】

街かど博物館認定数 R3:17館  
 街かど博物館体験ツアー開催回数 R3:2回(延べ参加者数:22人)  
 街かど博物館館長連絡協議会開催回数 R3:3回(書面開催)  
 街かど博物館ファンクラブ会員数 R3:648人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 街かど博物館館長連絡協議会
  - 第1回(通算第61回)：【開催期間】令和3年5月20日から6月3日まで(書面会議)
    - ・令和2年度 収支決算、事業報告について
    - ・令和3年度 収支予算、事業計画について
  - 第2回(通算第62回)：【開催期間】令和3年10月20日から10月26日まで(書面会議)
    - ・令和3年度 街かど博物館体験ツアーについて
  - 第3回(通算第63回)：【開催期間】令和4年1月20日から1月28日まで(書面会議)
    - ・令和3年度 街かど博物館体験ツアーについて

- 街かど博物館体験ツアー
  - ・令和3年12月3日「板橋の紅葉さんぽと、海と山のなりわいを知る街かど博物館ツアー」(参加者:7名)
  - ・令和4年3月29日「桜の街博 まち歩き」(参加者:15名)
  - ※当初予定していた次の2つのツアーについては、コロナ禍により延期とした。  
 「はじめての街かど博物館ツアー」、「かまぼこ食べ比べ！海の恵みを満喫ツアー」



施設見学  
(木地挽き・ろくろ工房)



施設見学  
(寄木ギャラリー)



紅葉観賞  
(秋葉山量覚院)

- 街かど博物館に係るイベント
  - 三菱地所が開発した「膝栗毛アプリ」を活用したイベントに街かど博物館のイベントブースを設け、博物館の商品を紹介・販売を行った。併せて、街かど博物館のファンクラブを募集し、新規に26人ファンクラブ会員を獲得した。
  - ・実施日時 令和3年12月4日
  - ・実施場所 小田原宿なりわい交流館



物販に参加した街かど博物館館長

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
小田原宿なりわい交流館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	昭和7年(1932)に建設された旧網問屋を、誰でも立ち寄れる休憩所として、また小田原の地場産業に関する情報発信の場として整備し、市民や観光客へ無料で提供している。官民連携により誘客及び回遊拠点としての機能と魅力を高めるため、耐震補強を含めた再整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・管理運営業務については、令和2年度に引き続き合同会社小田原かまぼこ発信隊が受託し、地域と一体となった管理運営を行っている。 ・耐震補強を含めた再整備の内容やスケジュールに関して検討を開始した。			
【定量的評価】			
入館者数 R3:38,102人			
自主事業の開催数 R3:4回			
イベント会場の利用回数 R3:30回			
開館日数 R3:364日			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○各種団体との連携事業			
(1)地元飲食店事業者との連携事業			
・「こども食堂(まんまるほっぺ)」を開催する際の開催場所として協力 ・開催当日は2階も開放し、参加者に活動の場を提供 ・開催日:5/27、6/24、7/22、8/26、9/23、10/28、11/18、12/23、1/27、2/24、3/24			
			
こども食堂看板		配布された弁当	
			
2階での活動の様子			
(2)障がい者団体との連携事業			
・なりわい駅弁市 & 野菜市を8/7に開催 ・野菜市については、地元の障がい者団体が販売を実施 ・野菜市 開催日:8/7、11/20、1/15、3/19			
			
駅弁市 & 野菜市の開催ちらし		野菜市当日の様子	

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
景観計画重点区域等における景観形成修景費補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 景観計画における3つの拠点型重点区域(小田原城周辺地区、小田原駅周辺地区、国道1号本町・南町地区)又は当該区域への移行に取り組む地域(かまぼこ通り地区等)において、景観形成の方針に基づく景観修景に対する助成等を行うことで、潤いとやすらぎのある景観や歴史的資源を活用した落ち着いたきと風格がある景観の形成を促進させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・拠点型重点区域又は当該区域への移行に取り組む地域の景観形成の方針に基づく良好な景観形成に寄与する事業に対し、「景観形成修景費補助金」により経費の一部を助成することで、景観の形成を図っている。

【定量的評価】

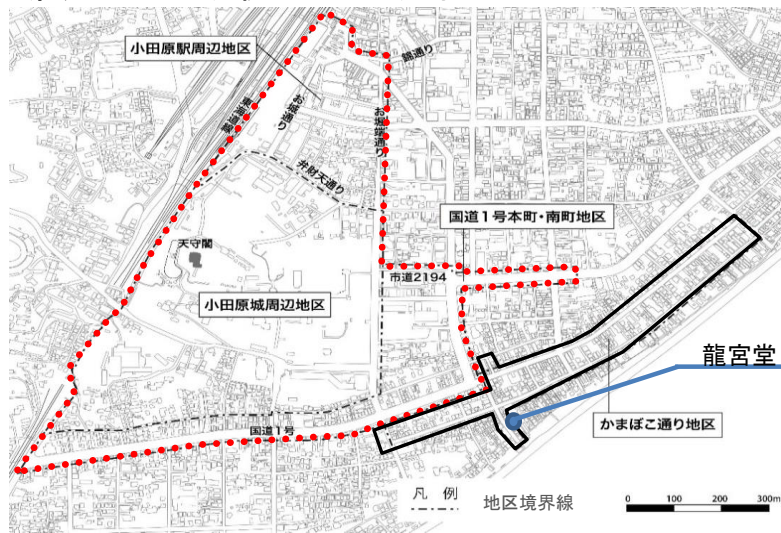
景観形成修景費補助件数 R3:1件(かまぼこ通り地区)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観計画重点区域(拠点型重点区域)等



- ⋯⋯⋯ 景観計画重点区域  
 (小田原城周辺地区、小田原駅周辺地区、  
 国道1号本町・南町地区)
- 景観計画重点区域への  
 移行に取り組む区域  
 (かまぼこ通り地区)

○景観形成修景費補助事業

龍宮堂外観修景工事

- ・拠点型重点区域への移行に取り組む「かまぼこ通り地区」に該当する。
- ・小田原宿なりわい交流館の南に位置し、建物は、景観計画の色彩基準に適合している。
- ・補助対象の工事については、令和3年8月に工事着手し、令和3年9月に完了した。



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
重点区域における街なみ環境の向上		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 都市構造再編集集中支援事業・市単独事業

計画に記載している内容 かまぼこ通り周辺地区、銀座・竹の花周辺地区、板橋・南町周辺地区においては、歴史まちづくりの機運が高まってきていることから、地区住民等とともに『小田原市景観計画』や『歴史的建造物活用エリアコーディネートプラン』を踏まえ、ハード及びソフト事業を展開していき、地区の街なみ環境の向上に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○良好な景観形成に向けた取組  
 ・かまぼこ通り周辺地区については、平成30年度から小田原宿やなりわいの文化・風情を受け継ぐ歴史的建造物を生かした通りの街なみ景観形成を図るため、景観計画重点区域の指定に向け取り組んでいる。令和3年度は、歴史的建造物の配置や地域住民の意向を踏まえ、指定方針を再検討し、既存建築物の色彩調査や、指定に向けた地域住民への個別説明を実施した。  
 ・銀座・竹の花周辺地区については、市条例に基づく街づくり基準に適合しない色彩の店舗が開店したことを契機に、法的拘束力のある景観計画重点区域の指定等への移行を検討している。令和3年度は、地元まちづくり協議会会員と個別に意見交換を行い、制度の周知に努めるとともに、今後の方向性を整理した。  
 ○まちなか再生支援事業  
 ・かまぼこ通り周辺地区及び銀座・竹の花周辺地区の地元まちづくり協議会を対象として、持続可能なまちづくりの推進体制構築のほか、地区の課題である空き家・空き店舗の利活用に係る取組として、空き家等の所有者に対する不動産知識向上の勉強会や個別相談の開催など、協議会の活動を支援し、地区の街なみ環境向上に寄与する取組を進めた。  
 ○道路事業  
 ・かまぼこ通り及び板橋・南町周辺地区(旧東海道)において、街なみ環境の向上に資する道路改良(景観に配慮した舗装整備等)を進めている。令和3年度は次のとおり。  
 ・市道2033道路改良工事(側溝改修:L=220m) 令和3年12月～令和4年3月  
 ・市道0026道路改良工事(景観舗装:L=60m) 令和3年9月～12月

【定量的評価】

道路改良工事(側溝改修) R3:L=220m

道路改良工事(景観舗装) R3:L=60m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観計画重点区域の検討エリア



かまぼこ通り周辺地区

○まちなか再生支援事業  
(空き家・空き店舗の利活用に係る取組)

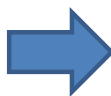


◀不動産知識の向上勉強会(チラシ)

○市道2033道路改良工事(側溝改修:L=220m)



整備前



整備後

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の総合的把握・保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 指定文化財には至らないものの、地域にとって宝ともいえる文化財について、官民で協力しながら総合的に把握する仕組みを構築するとともに、必要な資料調査を実施する。また、これを踏まえつつ、『小田原市文化財保存活用地域計画』の策定に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・文化財を総合的に把握するための準備として、その基礎資料になる、『小田原の文化財』を20年ぶりに改訂し刊行した。  
 ・平成29年7月に石造物調査会、令和元年6月に古写真整理の会が市民ボランティアにより発足され、文化財に対する理解を深める機会となっている。現在は、石造物調査会29名、古写真整理会9名がボランティアとして参加している。  
 令和3年度の取組として、石造物調査会はコロナ禍のため休止中である。古写真整理の会では郷土文化館で収蔵している昭和期の小田原市街地写真約70点を整理した。

【定量的評価】

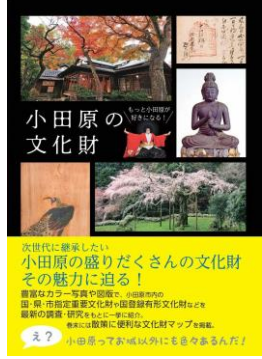
文化財の把握に係る調査件数 R3:1回(石造物調査会中止、新規に各自治会所有の山車、神輿に係るアンケート調査1回実施)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○『小田原の文化財』の改定



@1,100円で販売予定



148件の指定文化財をフルカラーで解説

○古写真整理の会



古写真整理の会による調査の様子  
 (当時の写真の位置を特定し、同じ場所で現在の写真撮影 令和3年5月11日)

評価軸③-13  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
伝統行事・民俗芸能等保存継承事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容  
本市を特徴づける神社の祭礼等伝統的な行事の認知度を高める情報発信に努めるほか、必要に応じて学識経験者等の指導や助言を得ながら、神輿や山車の現況調査を進め、祭礼を支える用具類の維持を支援していく手立てを検討する。市内各地で継承されている小田原囃子の無形の民俗文化財としての価値を明らかにし、市の文化財指定に向けての研究を進める。民俗芸能の保存活動団体に対し、活動の周知や後継者育成のための発表会など普及啓発や保存の取組を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
・例年11月に開催している「小田原民俗芸能保存協会 後継者育成発表会」はコロナ禍のため中止し、代替え事業として、「伝えよう！小田原の民俗芸能写真展」として中央図書館でのパネル展示を10月26日～11月21日に実施した。  
・市内の多くの地域で行われている祭礼のうち「鹿島踊」について、平成29年度から継続し、披露される祭礼の取材等を行った。令和3年度は、「石橋子の神社」に伝承されていたが、昭和47,8年に休止した当時の状況について取材するとともに、当時の道具、古写真の存在を把握し後世への継承を図った。

【定量的評価】  
後継者育成発表会の参加者数及び観覧者数 R3:0人(中止のため。パネル展示はオープンフロアのため来場者数不明。)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



石橋子の神社(鹿島踊)古写真(昭和45年)  
令和3年7月7日



石橋子の神社(鹿島踊) 鉦と撞木  
令和3年7月14日



石橋子の神社(鹿島踊) 歌詞が書かれた扇子  
令和3年7月14日



伝えよう!小田原の民俗芸能写真展  
令和3年10月26日～11月21日



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
観光イベント支援事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容  
本市最大の観光イベントである小田原北條五代祭りや小田原ちょうちん夏まつりなどの観光イベントを主催する(一社)小田原市観光協会を支援し、安定したイベント開催の実現を図る。  
観光イベントでは、コンテンツの一つとして神輿や小田原囃子などの伝統的な活動が披露される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
・小田原北條五代祭りは、北条五代などに扮した武者隊や鉄砲隊などが市内を勇壮に練り歩く、本市最大の観光イベントである。また、パレードでは神輿や小田原囃子も披露される。令和3年度は、コロナ禍のため、武者行列パレード等を中止し、分散型・回遊型の事業として展開した。  
・小田原ちょうちん夏まつりは、歴史に名を残す「小田原ちょうちん」をシンボルとした夏の一大イベントであり、お堀では地元小学生が作った約1,800個の小田原ちょうちんに明かりが灯され、水面に幽美な光が映し出される。また、小田原囃子競演会や神輿パレードも実施される。令和3年度は、コロナ禍のため、内容を変更した小田原ちょうちん&光アートとして11月から12月に本丸広場に市内小学生製作のちょうちん約1,700個の展示やライトアップ、レーザー投射などの光の演出を行いながら実施した。  
・コロナ禍により集客力の大きなイベントが中止となり、そのリカバリー事業として、城址公園ほかに「ある日突然、武者行列」「歴史謎解きゲーム」「総構えスタンプラリー」等を開催したほか、令和3年7月にオープンした小田原市観光交流センターにおいて、「風魔忍者アクション人材育成」「風魔忍者ウィーク」等を開催するなど、分散型・回遊型にシフトした新たな事業を展開した。

【定量的評価】

観光協会が開催したイベント数 R3:16回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○分散型・回遊型の小田原北條五代祭り



歴史リアル謎解きゲーム「謎の城」in小田原 (令和3年3月30日～令和3年10月31日)



「ある日突然、武者行列」(ゲリライベント)

○小田原ちょうちん&光アート(令和3年11月23日～令和3年12月26日)



評価軸③-15  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
	現在の状況	
回遊性向上推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度  
 支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物などへの案内板等の整備及び維持管理を行い、市民や来訪者の回遊性を高める。併せて、歴史的建造物等の情報、史実等のストーリーや回遊ルート等を紹介する散策マップを作成する。

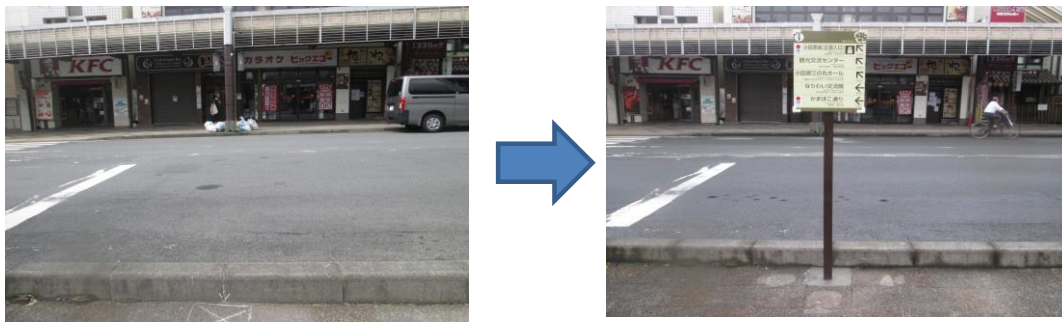
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 ・案内板については、踏査により設置状況を把握したうえで整備を実施した。  
 ・回遊ルートや施設の情報を紹介するウォーキングタウンおだわら散策マップの中央版を30,000部発行した。なお、散策マップは東部版、中央版、西部版の3種類となっており、観光案内所や観光施設、郵送などで配布している。

【定量的評価】  
 案内板の整備(新設及び修繕)件数 R3:1件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○案内板の整備



○小田原散策マップ中央版



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
伝統的工芸品産業産地組合助成・地場産業PR支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 伝統的工芸品産業産地組合助成事業では、小田原箱根伝統寄木協同組合が行う後継者・従事者研修事業及び需要開拓事業に対して助成を行う。  
 また、地場産業 PR 支援事業では、小田原・箱根地域の木製品産業における技術の向上及び販路開拓、情報発信を目的に、実行委員会が隔年で開催するイベントである小田原・箱根「木・技・匠」の祭典等に対し補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・担い手の育成や伝統技術の継承を目的に、小田原箱根伝統寄木協同組合が行う「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業(従事者・後継者育成事業、販路開拓事業)に対し助成した。  
 ・小田原・箱根「木・技・匠」の祭典は隔年開催であり、令和3年度は実施しない。

【定量的評価】

展示会・見本市への出展者数 R3: 30社  
 小田原・箱根「木・技・匠」の祭典来場者数(隔年開催) R3: 開催なし

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○組合による従事者・後継者育成事業

- ①寄木製品の試作研修  
 【日 程】令和3年10月4日、11日、18日、26日、11月1日の計5日間  
 【講 師】金指勝悦、露木清勝、石川一郎  
 【参加者数】実人数16人 延べ人数31人
- ②手道具類の実技研修  
 【日 程】令和3年11月5日、19日、26日、12月3日、10日の計5日間  
 【講 師】露木清勝、石川一郎  
 【参加者数】実人数14人 延べ人数27人



○組合による販路開拓事業

- ①熊本からくり細工展  
 【日 程】令和3年4月20日～26日  
 【場 所】くまもと工芸会館  
 【出展者数】2社
- ②関東ブロック伝統的工芸品展  
 【日 程】令和3年10月23日・24日  
 【場 所】東京国際フォーラム  
 【出展社数】1社
- ③JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2021  
 【日 程】令和3年10月29日～11月11日  
 【場 所】銀座博品館  
 【出展社数】6社
- ④箱根寄木細工展  
 【日 程】令和3年11月10日～17日  
 【場 所】ラスカ熱海店  
 【出展社数】12社
- ⑤全国伝統的工芸品展  
 【日 程】令和4年2月17日～23日  
 【場 所】池袋東武百貨店  
 【出展社数】9社
- ⑥常設展示 伝統工芸青山スクエア、アンテナショップWAZA屋における常設展示販売



○小田原・箱根「木・技・匠」の祭典

令和4年度の開催に向けた検討の実施 検討委員会1回、準備委員会4回を開催

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
職人育成等推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業、市単独事業
計画に記載している内容	NPO 団体や歴史的建造物の所有者等と連携し、歴史的建造物の保全やまち並み環境の形成を図るとともに、歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人の育成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人を育成するため、伝統工法に通じた職人の育成等を目的として設立された「NPO法人おだわら名工舎」への業務委託を行った。令和3年度の業務内容は、次のとおり。

- 1 旧保健福祉事務所跡地 西海子通り沿い板塀改修等
- 2 旧保健福祉事務所跡地 出入口両扉製作
- 3 清閑亭 南側(道路境界)面のブロック塀上部板塀新設
- 4 歴史的建造物の価値評価、日常の維持管理、改修修繕等に関する相談に対する助言

【定量的評価】  
 職人育成研修の実施件数(のべ参加者数) R3:3件(48名)  
 職人育成研修の相談受付件数 R3:30件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○旧保健福祉事務所跡地 出入口両扉製作



工事前



工事中(研修中)の様子



工事後

○清閑亭 南側(道路境界)面のブロック塀上部板塀新設



工事前



工事中(研修中)の様子



工事後

評価軸③-18  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
旧保健福祉事務所跡地活用事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業

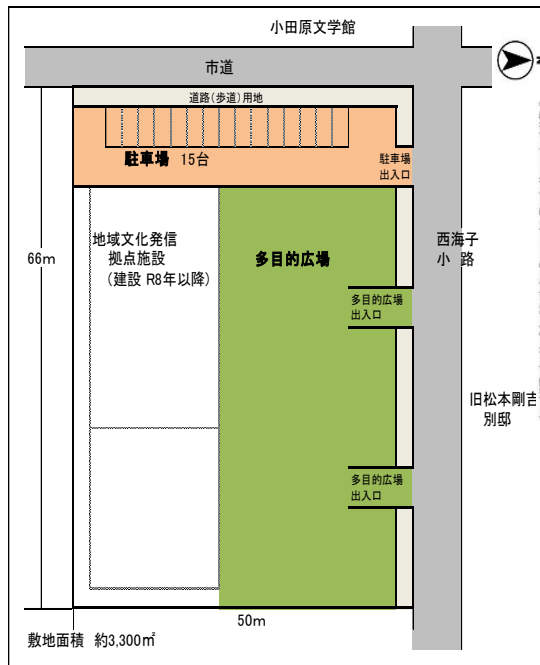
計画に記載している内容  
旧保健福祉事務所跡地に多目的広場と駐車場(小田原文学館及び旧松本剛吉別邸)を整備する。  
将来的に西海子小路周辺の歴史的風致の魅力をも高める歴史、文化等の情報発信や回遊性の向上に寄与する施設を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
・令和3年度については、施設整備を視野に入れながら用途地域の規制を踏まえ、旧保健福祉事務所の利活用を検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○整備イメージ



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の調査及び指定、防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 小田原市文化財保護委員会の指導と助言を踏まえ、必要な文化財調査を進めるほか、学術的な価値が高く、緊急性が高いものから市指定文化財の指定等を行っていく。また、市域全域を網羅できるような地域別の多様な文化財の資料調査に努める。  
 文化財のうち有形文化財等については、火災や自然災害等により毀損、滅失する恐れがあるため、被災リスクの軽減を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・小田原市文化財保護委員による調査のうえ、小田原市文化財保護委員会を開催し、文化財の修復方法等について意見聴取を実施した。  
 ・文化財防火デーに合わせ、消防と連携し、消防訓練や設備点検・防火指導を実施した。  
 ・史跡小田原城跡については、会計年度任用職員により、定期的な見回りをするとともに、除草、清掃活動を実施し、保存管理を継続している。  
 ・個人や法人が所有する文化財については、所有者からの年1回の管理状況に関する報告にあわせ、防犯意識の啓発と日常の点検について推奨している。

【定量的評価】

市の指定文化財件数 R3:115件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○文化財の調査

- 第1回小田原市文化財保護委員会(7月7日開催)**
- 1 協議事項
    - (1)市指定史跡「平成輔の墓所」の修復の方向性について
  - 2 報告事項
    - (1)『小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)』の認定について
    - (2)『史跡小田原城跡保存活用計画』の策定について
    - (3)令和2年度文化財課主要事業の結果について
    - (4)令和3年度文化財課主要事業について
    - (5)『小田原の文化財』の作成について



小田原市文化財保護委員による市指定史跡平成輔の墓所調査の様子

○文化財の防災



小田原文学館での消防訓練(令和4年1月実施)



設備点検・防火指導(令和4年1月実施 小田原城天守閣)

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
工夫いっぱい総構ガイド おだわら魅力向上委員会が作成	令和3年5月18日	神静民報
尊徳教え田植えで学ぶ ゆかりの栽培地、児童が体験	令和3年6月9日	神奈川新聞
「新堀」散策に回遊路 小田原城で一般開放	令和3年6月25日	読売新聞
電力王の庭園、再び 松永記念館が新装開園	令和3年7月8日	神奈川新聞
茶作り体験や製茶見学で紅茶の魅力伝える空間 如春園	令和3年10月30日	神奈川新聞
国史跡指定範囲拡大へ 小田原城跡	令和3年12月18日	毎日新聞
旧内野醤油店取得へ 市、長期的保全と観光拠点に	令和4年2月28日	神奈川新聞
相模人形芝居ジャズで 米国での人気演目アレンジ	令和4年3月7日	読売新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・観光案内所等で無料配布される小田原城総構ガイドパンフレット「はじめての総構」、松永記念館のリニューアルオープン、小田原城跡の国指定史跡範囲拡大、旧内野醤油店の取得など、本市の歴史的風致等に関するものが多数報道されている。  
 ・上記のとおり、行政や民間からの積極的なプレスリリース等による各種メディアの報道により、本市の歴史的風致の維持及び向上に対する市民等の関心が高まり、認知度の向上に寄与している。

【定量的評価】

市が各種メディアに取り上げられた件数 R3:188件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり  
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



令和3年5月18日付 神静民報



令和3年7月8日付 神奈川新聞



令和3年12月18日付 毎日新聞



令和4年2月28日付 神奈川新聞

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目  
小田原城址公園の魅力向上

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・コロナ禍のため、天守閣及び常盤木門SAMURAI館、歴史見聞館NINJA館については、検温の実施など感染予防対策を行い、社会情勢を踏まえた運営を行っている。  
・小田原城や周辺施設を活用した誘客対策として、天守閣特別展「復興小田原城天守閣—昭和から平成・令和へ—」(令和2年11月21日～令和3年5月30日)を開催した。  
天守閣特別展「没後450年 北条氏康伝」(令和3年12月18日～令和4年2月28日)を開催した。

【定量的評価】

小田原城天守閣入場者数 R3:374,506人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり  
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

天守閣特別展  
「復興小田原城天守閣  
—昭和から平成・令和へ—」  
(令和2年11月21日  
～令和3年5月30日)  
(開催期日延長)



天守閣特別展  
「没後450年  
北条氏康伝」  
(令和3年12月18日  
～令和4年2月28日)





評価軸⑥-2  
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目 歴史まちづくりカードの配布

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・関東甲信地方等において、国と歴史まちづくりに積極的に取り組む歴史的風致維持向上計画認定都市が連携し、各都市の魅力PRするため、「歴史まちづくりカード(通称:歴まちカード)」を市民や来訪者等に配布している。  
 ・本市カードの配布場所は、小田原城天守閣、松永記念館、小田原宿なりわい交流館、小田原文学館、おだわら市民交流センターUMECO(レンタサイクル受付)の5箇所。  
 ・本市の歴史的風致に係る象徴的な写真や情報を掲載しており、本市の歴史まちづくりの認知度向上に寄与している。

【定量的評価】

歴まちカード配布枚数 R3:3,696枚

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり  
 ■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



歴まちカード【表面】



歴まちカード【表面】



●「歴まち(歴史まちづくり)」とは――  
 歴史的風致維持向上計画に基づき、地域固有の歴史文化資産を継承・活用していくために掲げるまちづくり  
 ●実行機関 松川市、水戸市、栃木市、下野市、甘楽町、桐生市、加藤市、香取市、小田原市、東御市、中野市、下野市、松本市、東御市、長野市、千曲市  
 ※歴史まちづくり推進員(歴まち推進員)も参加している(※令和3年度版)

●配布対象等 ①無料 ②大人用 ③幼児用(小学生以下)  
 ※その他、詳細情報はこちらをご覧ください。 URL: [http://www.ktr.go.jp/city\\_park/machi/machi00000001.html](http://www.ktr.go.jp/city_park/machi/machi00000001.html) QRコードでもアクセスできます。

●配布場所(歴史まちづくり推進員) 各都市の歴史まちづくり推進員が配布しています。

都市	配布場所	配布時間	配布枚数
① 松川市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
② 水戸市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
③ 栃木市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
④ 下野市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑤ 桐生市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑥ 甘楽町	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑦ 川越市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑧ 香取市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑨ 鎌倉市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑩ 小田原市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑪ 中州市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑫ 下諏訪町	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑬ 松本市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑭ 東御市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑮ 長野市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚
⑯ 千曲市	歴史まちづくり推進員	10:00~17:00	100枚

国土交通省関東地方整備局・関東甲信地方歴史的風致維持向上計画認定都市

関東甲信地方の歴まち計画認定都市  
共通のポスター(国土交通省作成)

評価軸⑥-3  
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

歴史まちづくり出前講座の実施

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・市民等を対象とした出前講座を実施し、本市の歴史まちづくりについて認知度向上を図った。

【教員向け出前講座】

・小田原・足柄下地区小学校教育研究会社会科研究部から、地域に根差した学校教育を展開することを目的として、本市の歴史まちづくりに係る出前講座の依頼があり、令和3年6月18日に教員33名を対象としたオンライン形式(新玉小学校から小田原・足柄下地区の各公立小学校へ配信)の出前講座を実施した。

・実施後、参加者からは、「地域の歴史や文化をより深掘りし、児童へ発信していきたい」、「児童の調べ学習に歴史まちづくりを取り入れたい」等の声があった。

【本市新採用職員向け出前講座及びまち歩き研修】

・令和3年10月6日に本市新採用職員23名を対象とした歴史まちづくり出前講座及びまち歩き研修を実施した。まち歩き研修では、新採用職員が魅力を感じたスポット等の写真を本市の公式SNSに投稿し、歴史まちづくりのPRにつなげた。

・実施後、参加者からは、「歴史まちづくりへの理解が深まった」という声が多数ある一方で、「歴史的風致を将来的にどう活かすかを考えていくことが重要」、「小田原城以外にも文化的象徴となる場所・ものの創出が必要」等、本市の歴史まちづくりに関して課題となっている点についての意見もみられた。

【小学生向け出前講座及び校外学習】

・小田原市立新玉小学校から、地域に根差した学校教育を展開することを目的として、本市の歴史まちづくりに係る出前講座の依頼があり、6年生の児童37名を対象に、令和3年11月1日に出前講座を実施し、同月10日に講座の内容に沿った建造物を巡り、所有者等から直接歴史を学ぶ校外学習を行った。その後、同月24日に参加児童から出前講座及び校外学習のまとめや感想について発表があった。なお、いずれも総合的な学習の時間を用いて実施している。

・参加児童からは、「ずっと住んでいるところでも知らないものがたくさんあることがわかった」「昔から受け継がれる歴史的風致を知り、小田原の歴史を思う人が多くいることを感じた」等の声があり、地域の歴史的風致を学ぶ機会を創出できた。

【定量的評価】

出前講座参加者数 R3:93名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり

計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



出前講座資料(抜粋)



令和3年6月18日  
教員向け出前講座(オンライン)の様子



令和3年10月6日  
本市新採用職員向け出前講座及びまち歩き研修の様子



令和3年11月1日、10日、24日  
小学生向け出前講座及び校外学習の様子

項目

歴史まちづくりパネル展示の実施

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・本市の歴史まちづくりの認知度向上を図るため、小田原地下街「ハルネ小田原」ハルネギャラリーにて令和3年10月30日から令和4年1月13日までパネル展示を実施した。  
・展示内容については、小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)に位置付けている7つの歴史的風致や歴史的風致形成建造物、歴史まちづくりカードの取組等を紹介した。

【定量的評価】

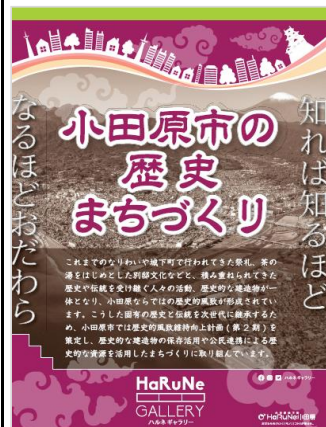
パネル展示観覧者数 R3:約6,500名(推定)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり  
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



展示したパネル(抜粋)

パネル展示の様子

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

歴史的建造物の入館者数等

重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上に寄与する施策を重点的かつ一体的に推進し、歴史的建造物や伝統文化などの保存・活用、歴史的景観等に配慮した市街地の環境整備などを図ることにより、市民や観光客の歴史的風致への認識や愛着を深めるだけでなく、小田原固有の風情が多くの人々に伝播し、歴史的建造物や伝統文化の継承、交流人口の拡大・観光振興などの多方面にわたる効果が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○入込観光客数及び施設入館者数 ※詳細は下記を参照。

○県内自治体間、認定都市間との連携

- ・県(邸園文化圏構想、邸園文化祭)による広域連携の実施 ・歴史的景観都市協議会への参加
- ・関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議への参加 など

○歴史的風致形成建造物(指定候補含む)の件数

- ・歴史的風致形成建造物(指定候補含む)を指定することで、本市内に残る歴史的建造物の保存・活用が推進される。
- 第1期計画:23件 R3:27件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○入込観光客数及び施設入館者数の推移(単位:人)

指標	第1期計画 (後期5年) 平均値	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
入込観光客数 ※	5,634,012	5,290,670									
小田原城天守閣	582,022	374,506									
松永記念館	16,879	11,583									
清閑亭	24,471	19,277									
小田原文学館(本館・別館)	6,802	4,509									
旧内野醤油店	606	418									
旧松本剛吉別邸	7,054	2,022									
小田原宿なりわい交流館	35,689	38,102									
皆春荘	2,156	1,877									

※入込観光客数については、暦年(1月1日~12月31日)の集計値

○県内自治体間、認定都市間との連携



湘南邸園文化祭チラシ



歴史的景観都市協議会リーフレット

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 令和3年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会(書面会議)	
会議等の開催日時： 令和3年11月22日から12月1日まで	
(コメントの概要)	
<p>(1)コロナ禍による影響を受けている事業もあるため、今後の感染状況を考慮した事業展開、進捗管理に努めるとともに、コロナ禍による影響やその対応について総合的な観点からまとめておく必要がある。</p> <p>(2)コロナ禍により様々な伝統的イベントが中止や延期を余儀なくされているが、全体として計画に沿った形で推進できている。また、分散型・回遊型に変更するなど、工夫して事業展開しようとする意図が感じられ、歴史や伝統を大切に思う市民の思いが形になったものとして評価したい。</p> <p>(3)伝統行事・民俗芸能等の保存継承について、鹿島踊のように、一定期間、中断されていたものは、中断する以前の状況を調査し、記録を残すことが望ましい。</p> <p>(4)民間所有の建造物を意欲的に指定を進めており、大変良いことだと考える。今後の維持・管理については、なるべく在来工法を用いた修理や、元の造作、意匠の復元も試みていただきたい。</p> <p>(5)引き続き、国土交通省の都市構造再編集中支援事業や社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)等の活用を検討し、事業を推進していただきたい。</p> <p>(6)かまぼこ通り周辺地区の景観計画重点区域の指定については、コロナ禍により地域住民や地元まちづくり協議会との調整が難しいと思うが、コロナ対策を徹底のうえ着実に進めていただきたい。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>(1)コロナ禍における歴史まちづくりについては、事業等への影響を考慮し、今後の対応方法や評価の方法など検討を進めてまいります。</p> <p>(2)新型コロナウイルスの感染状況等の社会情勢を踏まえ、適切な対策を講じながら、引き続き歴史まちづくりを推進してまいります。</p> <p>(3)中断されていた伝統行事・民俗芸能等については、中断以前の状況も含め調査及び記録するように検討を進めてまいります。</p> <p>(4)歴史的風致の維持及び向上のため、引き続き、民間所有の建造物を歴史的風致形成建造物に指定できるよう取組を進めてまいります。また、歴史的風致形成建造物の修理等については、在来工法の活用など伝統的木工技術に精通した専門家等とともに検討してまいります。</p> <p>(5)都市構造再編集中支援事業や社会資本整備総合交付金など国の支援を活用しながら、更なる歴史まちづくりを推進してまいります。</p> <p>(6)かまぼこ通り周辺地区の景観計画重点区域の指定については、感染防止対策を徹底のうえ、地域住民や地元協議会とともに進めてまいります。</p>	